

【 2017 年 1 月号 】

社会福祉法人 五倫会

指定障害者支援施設 姫路暁乃里

〒671-0111

姫路市の形町形 3558 番地

TEL 079-247-9797

FAX 079-247-9898

URL <http://www.akatsuki-sato.com/>

facebookID 943870515689311

チャレンジ

謹賀新年

新年の挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、社会福祉法人五倫会にとって、大きな変革の年となりました。法人内の改革に取り掛かり、大幅な人事異動を行い、人事の刷新を図りました。そのため、利用者並びに保護者の方々には、多大なご不安・ご心配をお掛けしたことを思います。しかしながら大きな事故、問題もなく一年を過ごすことができました。これもひとえに、皆様方の法人・施設運営にご理解、ご協力の賜物と、改めて心より御礼申し上げます。

四月から社会福祉法人改革により社会福祉法人は大きく変わります。今まで以上に公益性・非営利性を確保し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人として経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等が求められるようになります。地域に根差した法人として私たちに今何ができるのか、さまざまな方々のニーズをしっかりと把握し、応えることができるよう更なる努

今年は、新たにグループホームを計画しております。また、地域の方々にも喜んで頂けるような就労の場も準備しているところです。

今後、自主性・自立性を尊重し、地域における様々な福祉需要に対して、創意工夫のときめ細かく且つ柔軟に対応していく、真に地域に根差した地域住民から認められる存在となれることを目指します。

皆様方におかれましては、何卒倍旧のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長 灘 一善



編集記

正月について

現代において正月とは旧年（去年）を無事に過ごせた事について感謝し、また新年（今年）を無事に過ごせるように願う事が主となっておりますが、本来は稲作の神や穀物の神をお迎えして一年の豊作を願うと共に、数え年では一月一日に歳を加えていたことから皆が無事に歳を重ねられた事を祝う行事だったそうです。

今年も利用者皆様が何事もなく歳を重ねる事ができるよう精進して参りますので何卒宜しくお願いいたします。

職員一同





日中作業の様子(綿編)



株式会社 綿屋
澤田 様

澤田様より綿と種の選別作業をいただいています。手で分ける利用者さんもしれば、綿くり機を使い分ける利用者さんもあります。また細かい作業のため、種をいくつ取るか目標を決めて取り組む利用者さんもあります。それぞれ自分のやりやすい作業スタイルで日々作業を行っています。また畑での種まき、草取り、収穫、片付けなどにも声をかけていただき、地域の方や学生さんなどと交流を兼ねて作業を行っています。暑い日や寒い日に畑へ行くこともありますが、外での作業も利用者さんにとっては楽しみの一つです。どの作業でも真剣に取り組まれています。



皆さん、12月17日土曜日の朝の番組「姫路ひろば」を観ていただけたでしょうか？取材で綿の収穫と選別作業に取り組んでいる様子を撮影していただきました。作業場所を変え、大きなカメラやスタッフの方々に囲まれて、利用者さんも緊張した面持ちでした。放送日にはテレビの前で利用者さん、職員共に観覧しましたが、利用者さんの反応は意外に薄かったです。普段ホームビデオなどを観ているからかもしれません。観られた方は是非感想を聞かせて下さい♪



この花が白い綿になります。クリスマスシーズンになると、コットンボールをアレンジしたブーケが花屋さんに並ぶようになり、綿の実が珍しくなくなりましたが、夏に咲く花は案外知られていないのではないのでしょうか。



綿の花言葉…崇高と繊細です。(毎日色々なことで一生懸命頑張っていることへの労い)
綿の持つ自然の癒しとパワーアップの力を感じていただきたいと思います。

第13回 ふれあいコンサート



・潮舞（ちょうぶ）様

毎年御出演いただいている和太鼓集団です。身体中に響いてくる力強い和太鼓の音を間近に感じる事ができ、聞いている利用者さんから大変人気がありました。



・インチウオーム様

2年振りに御出演いただきました。素晴らしい息の合ったアカペラの合唱だけでなく、ダンスも同時に行っての素晴らしい演奏を御披露いただきました。



・♪COLORS♪

ストリングキッズオーケストラ様

毎月2回施設で音楽療法を行っていただいている先生の演奏団です。弦楽器や管楽器などの演奏の他、タイプライターを使った珍しい演奏もありました。



・大的中学校吹奏楽部様

1年生19名による吹奏楽の演奏を御披露していただきました。これだけの大人数による演奏はとても迫力があり、コンサートのトリに相応しいものとなりました。

・太陽の郷合唱&ダンス

今年は太陽の郷の利用者さんに和田アキ子さんの「古い日記」という曲を御披露していただきました。迫力のある歌声と息ぴったりのダンスに圧倒されました。



・姫路暁乃里ダンス

今年は職員考案によるオリジナルダンスを披露しました。本番では練習の成果を出し切り、緊張を感じさせないくらいの笑顔溢れるダンスをお見せすることができました。



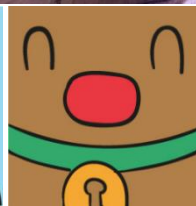
毎年恒例となっている「ふれあいコンサート」が12月4日に姫路暁乃里にて開催されました。13回目となる今年は、あいにくの雨天となりましたがたくさんの方にご来場いただき、会場が笑顔で包まれ楽しい時間を過ごすことができました。

コンサート終了後には、特製のおでん・豚汁を皆様に食べていただきました。ご来場いただいた方や、利用者さんから「美味しい」との声をいただき、日清医療食品さんと何度も相談した甲斐がありました。

来年も頑張りますので皆様の又の御来場をお待ちしております。

大塩地区の自治会館様・公民館様におかれましては、椅子と長机のご提供ありがとうございました。

Merry Christmas!

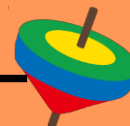


姫路暁乃里では 12 月 25 日に毎年恒例のクリスマス会が行われました。この日の昼食は、クリスマスメニューが用意されており、利用者の皆さんもとても喜んでいました。昼食の後は待ちに待ったクリスマス会です！「メリークリスマス！」と大きな袋を持ったサンタさんが登場し、一人ひとりに素敵なクリスマスプレゼントが手渡されました。

利用者の皆さんにとって、楽しく思い出深い 1 日になったのではないのでしょうか。



姫路暁乃里では、おせちが振る舞われました。新年の食卓を彩る華やかな朝食となりました。



お正月



大塩天満宮にて初詣。「今年も 1 年健康で過ごせますように」と願い、健康祈願のお守りを買いました。



おせちを堪能した後は、新春のチラシを見たり、新年の抱負を語ったり思い出に過ごされました。



姫路暁乃里は皆様のおかげで無事、新年を迎える事が出来ました。本年も皆様のお力添えを、何卒よろしく願います。
お正月といえはおせちに初詣です。姫路暁乃里でのお正月を紹介します。



日清医療食品

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。寒さも一段と厳しくなり、インフルエンザやノロウイルスも流行しやすい時期でもあります。栄養バランスのよい食事で体の抵抗力を高め、病気に負けない体づくりのサポートをしていきたいです。

おせち 1月1日

新しい年の最初の食事。見て楽しい、食べておいしいをモットーにおせちを作りました。おせち料理には様々な願いが込められています。1日に提供したおせちで紹介したいと思います。

かずのこ…子宝と子孫繁栄を祈る
二親（にしん）から多くの子が出る
ので、めでたいと古くからおせ
ちに使われています。

たたきごぼう…細く長く幸せに♡
細く長く地中にしっかり根を張る
ごぼうは縁起の良いものとされて
います。

黒豆…元気に働けますように
「まめ」は元来、丈夫・健康を意
味する言葉です。



伊達巻…教養
を持つことを
願う

伊達巻はぐる
りと巻かれた
巻物のような
形をしている
ことから、文
化、学問の成就
を願ったもの。

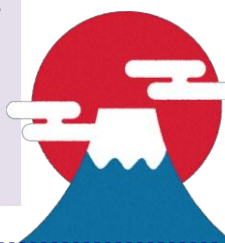


栗…豊かさと勝負運を願って
黄金色に輝き財宝に例えて、豊かな
1年を願うものとされています。

田作り…五穀豊穡を祈る

昔は、田植えや稲を植えるときに
小魚を肥料としてまいたことか
ら、豊年豊作を祈り、食べるよう
になったことが由来とされてい
ます。

紅白なます…お祝いの象徴
紅白なますは赤と白のその色合い
からめでたい料理とされています。



ノロウイルスについて

激しい下痢や嘔吐など症状を引き起こすノロウイルス。主に人の手指や食品を介して感染します。ノロウイルスは感染力が非常に強く、感染者の吐物や糞便中に含まれる数百万～数億個のうち、わずか10個～100個程度で感染するとされています。

感染を防ぐには？

①手洗い…手洗いは手指に付着しているノロウイルスを減らすのに最も有効です。手洗いが不十分になりやすい指先、指の間、爪の間、親指の回り、手のしわ、手首を意識して洗う。

②食品の加熱…中心部まで十分加熱（85℃以上 90 秒以上）でウイルスを失活させます。





社会福祉法人 五倫会

障害者福祉サービス事業所

太陽の郷



〒671-0111 姫路市形的町形的 3564

TEL : 079-247-8855

新年、明けましておめでとうございます。

今年も皆様のおかげで、良い年を迎える事が出来ました。

太陽の郷は「太陽の郷だより」で利用者さんの様子をお伝えしていますが「広報誌」でより一層、地域のみなさまに認知していただきたいと思います。

新年のご挨拶と合わせ本誌創刊のご挨拶とさせていただきます。

♪ ぼんたんゆうあい文化祭 ♪

去年の11月25日に姫路文化センターで行われ、今年で25回目になる「ぼんたんゆうあい文化祭」に見学に行きました。

メンバーは音楽クラブの方を中心に参加していただき、合唱・ダンス・寸劇などでみなさん大いに楽しんでいただきました。



コラボアート 21

絵画クラブで作っている作品が「関電コラボアート」で入選いたしました。入選したのは石原達也さん！

関電の方に訪問していただき表彰式をおこなっていただきました。



スケジュール



6日	金	音楽A
13日	金	WALKINGCLUB
14日	土	保護者会
20日	金	和太鼓、音楽B
23日	月	DRIVECLUB
27日	金	DRIVECLUB
28日	土	ワクワクENJOYDAY
30日	月	絵画

太陽の郷大そうじ

1年の締めくくりは大そうじ！

一致団結して施設内や施設周辺、送迎車などいつも使用しているものを綺麗にしました。みなさん最初から最後まで一生懸命掃除され、清々しい気持ちで新年を迎える事が出来ました。

生活介護

加古川市
コスモス畑



高砂海浜公園



高砂市
市ノ池公園



加古川市
平荘湖

DRIVE CLUB & WALKING CLUB

DRIVE CLUB

- ・車での移動が好きな利用者の方が多く、きっかけに始めた活動です。
- ・活動時間は 2 時間程度で移動できる所を目的地として活動しており、みなさん車内では通り過ぎる景色を見ながらすごくリラックスされております。



WALKING CLUB

- ・運動不足の解消と気分転換を兼ねてこの活動を始めました。
- ・活動時間は 1 時間程度行っており、活動場所は施設から少し離れた場所で伸び伸びとできる場所を何か所かピックアップして歩いております。

就労継続支援B型



ワクワクENJOYDAY

5月から毎月行ってる「ワクワクENJOYDAY」も12月で8回目になりました。

11月の鍋パーティーでは買い物、調理を行い、須磨水族園では切符の買い方などの訓練も兼ねて外出しました。行く場所は利用者さんと職員で話し合い、毎月決めています。次回からも外出を兼ねてのお金の使い方や公共施設などの利用方法も実施訓練していきたいと思っております。

勉強会

今年の11月から生活スキルを身に付ける為、勉強会を始めました。第一回は「住所・名前の書き方」第二回は「お金について」第三回は「性感染症について」勉強しました。来年も随時行っていきます。



職員挨拶

利用者の皆様、御家族の皆様、当法人の活動にご協力頂いております皆様、そして広報誌を御愛読頂いております皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様は年末年始をどの様に過ごされましたでしょうか。私は地元に戻り、家族や友人に会いました。当然の事ながら両親は白髪も増え、友人たちは着々と中年へと向かっております。見た目は変わっていくけれど、「大切にしたい」という気持ちだけは変わらないから不思議です。利用者の方々におかれましても御家族の体調面を心配する声や、会える日を楽しみにしている様子がよく伺えます。私たち支援者も、そういう話を聞きながら微笑ましく思っている次第です。「親は子を想い、子は親を想う」という事が家族にとつて最も大切な事なのではないかと思えます。私たち支援者も家族では無いけれど、一人一人を家族の様に大切にし、常に一人一人の事を考えて毎日を過ごしていきたいと思っております。

また、今回広報誌に掲載させて頂いております記事は、多くの日中活動の中のほんの一部となっております。当広報誌に加え、ホームページやフェイスブックでも施設情報や日々の様子を絶賛掲載中です。是非ともご覧下さい。

最後になりましたが、社会福祉法人五輪会は「姫路暁乃里」「太陽の郷」「チャレンジ」「ふらっと」「オリオン」と、今年も元気に支援しております。これからも事業を通して沢山の方と出会える事を楽しみにしております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

支援課 課長 村上 弘晃



～編集後記～

明けましておめでとうございます。2017年酉年がスタートしました。今年の干支「酉」は「取り込む」に繋がると言われており、運氣や情報を取り込む事に適した年だそうです。また「酉」という漢字の意味は「果物が極限まで熟した状態」と、何とも縁起が良いもので習い事や学問が実るともいわれています。今年は利用者さんと共に新しい物事へ沢山チャレンジする、そんな年にしたいと考えております。

広報誌を作成する中、利用者さんと過ごした1年間を思い返していました。この度の広報誌にもたくさんの笑顔に掲載させていただけたように思います。利用者さんと笑い合う事もあれば、一緒に悩む事や悲しむ事もあり、また自身の力不足に悔しい思いをする事もありました。そんな利用者さんとの1日1日、そして人生に深く関わらせていただく中で、私たち職員も本当にたくさんの事を学び自分自身が成長する場をいただいていると痛感します。

利用者さんと私たち支援者の間柄というのは何とも言えないもので、沢山の時間を共有する中で「利用者」と「支援者」という立場ではあるものの、時には家族の様な、また友人の様な大切な関係なのではと考えています。そんな大好きな利用者さんの「その人らしい生活、その人らしい生き方、成りたい自分」を応援する為に、精一杯精進して参ります。

職員一同

